

めざせ、みんなでつかうたてもの名人！

本単元で育成する資質・能力

チャレンジする力 表現する力 協力・貢献する力

- 1 日時 令和5年 12月11日(月) 第4校時
- 2 学年 2年1組 男子12名 女子13名 計25名
- 3 単元について

(1) 児童観

児童はこれまでに、「どきどきわくわくまちたんけん」で、身近な地域を対象として、自分の知っている町のすてきな場所や人を友だちに紹介して、クラス全員で確認しながら町を歩く活動を行った。

公共施設の利用に関するアンケート結果は以下のとおりである。

- ・公園や図書館、公共交通機関を利用したことがある児童 20名
- ・図書館をよく利用している児童 9名
- ・バスや電車等の公共交通機関をよく利用している児童 8名
- ・公共施設を利用するときに、気を付けていることを具体的に答えることができた児童 13名

このことから、実際に公共施設を見学したり利用したりすることで、公共施設のよさや働きについて考えさせるとともに、利用しやすい工夫やそれらを支える人々について気付かせ、利用する際のマナーやルールについて考えさせる必要がある。

(2) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領生活科の内容(4)「公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用しようとする。」を基に設定した。

ここでは、自分たち以外の人も利用する施設である地域の駅や図書館に行って工夫を調べたり、利用したりする中で、みんなですべてのものを大切にできるようにし、公共施設での誰もが気持ちよく使える利用の仕方を考え、正しく利用ができるようにすることをねらいとしている。

学習の際には、駅や図書館等の多様な公共施設を実際に利用することで、だれもが気持ちよく利用しやすいような工夫やそれらを支える人々がいることに気付かせていく。公共施設の働きやよさを多面的に捉えたり、支える人々の立場に立って工夫や利用方法について考えたりすることを通して、単なる利用者という立場を越えて、公共の意識をより一層高めていくとともに自分自身の力でよりよい生活をつくり出していく態度を身に付けていくことができると考え、本単元を設定した。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、児童が様々な公共物や公共施設を見学したり実際に利用したり、施設の人々と直接関わったりすることを通して、利用しやすくするための工夫やそれらを支える人々がいることに気付かせ、公共施設や公共物を大切に利用していく態度を育てる。

導入では、前単元に行った「どきどきわくわくまちたんけん」を振り返り、坂町にはたくさんの公共物や公共施設があることに気付かせる。多くの人が利用していたことを想起させ、「何のための施設なのだろうか。」「どんな人が使うための施設なのだろうか。」という疑問をもたせる。

まず、坂駅を見学し、工夫をチャート図で整理させることによって、公共施設のよさや働きを捉えさせる。工夫を整理する際には、「だれでも」「気持ちよく」「電車に乗ってもらうための工夫」の三つの視点で分類させる。図書館の工夫についても同様に学習を進める。さらに、図書館で働く人々について考えさせることで、図書館の工夫は人々の働きや思いによって支えられていることを捉えさせる。また、施設の働きと工夫の関連についての理解を深めるために、坂駅と図書館の工夫や働きを比較し、それぞれの施設ならではの工夫があることに気付かせ、働きによって工夫が異なることに気付かせる。

単元末には、自分たちの活動を振り返り、お世話になった人に手紙を書く活動を設定する。施設の人々の思いに改めてふれさせたいと、感謝の気持ちや自分の思いを表現させることで、ルールやマナーを守って公共施設を利用したいという態度を日常的なものへと高めていきたい。

4 単元の目標

公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることに気付くとともに、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりして、正しく安全に利用することができる。

坂中学校区として系統的に育成を目指す資質・能力の具体の姿	
チャレンジする力 【挑戦】 【粘り強さ】 【解決力】	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設について調べるために、実際に見学したり、人々に話を聞いたりするなど、繰り返し学習対象と関わることで、粘り強く課題を解決しようとしている。
表現する力 【自分】 【目的・相手・場面】 【工夫】	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設について調べたことや考えたことについて、目的や相手に応じて、根拠を明確にしてまとめたり伝えたりすることができる。
協力・貢献する力 【役割】 【行動力】 【感謝】	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設について学ぶことを通して、公共施設やそれに関わる人々に愛着や感謝の気持ちをもつとともに、地域の一人としてルールやマナーについて考えるなど、自分ができることに取り組もうとしている。






5 単元の評価規準

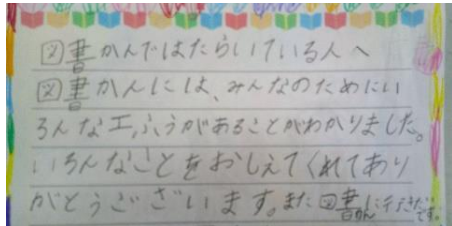
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①公共物や公共施設について、多くの人が利用していることやそれらを支えている人々がいることが分かっている。 ②相手意識をもち、正しい言葉遣いでインタビューしている。 ③ルールやマナーはみんな気持ちよく利用するためにあること、安全に気を付けて正しく利用することが大切であることが分かっている。	①行きたい場所やしてみたいことを思い描きながら、関わりたい公共施設を決めたり、計画を立てたりしている。 ②公共施設の工夫を整理し、よさや働きを捉えている。 ③公共施設の働きによって工夫が異なることを捉えている。 ④公共物や公共施設の利用を振り返り、見付けたよさや働きを公共施設を支えている人々に知らせている。	①公共物や公共施設を調べることに興味をもっている。 ②相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、ルールやマナーを守って見学している。

6 他教科等との関連

国語科	生活科
<ul style="list-style-type: none"> 「主語と述語に 気をつけよう」 「本はともだち」 「図書館たんけん」 	<ul style="list-style-type: none"> 「どきどき わくわく まちたんけん」 「もっと なかよし まちたんけん」

7 指導と評価の計画 (全 14 時間 本時 9 / 13 時間)

	探究の過程	時間	主な学習内容	評価規準及び評価方法
一 次	導入	1	① 町探検を振り返り、町にはたくさんの公共物や公共施設があることに気付かせ、課題を設定する。 ② 公共施設見学の計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい場所やしてみたいことを思い描きながら、関わりたい公共施設を決めたり、計画を立てたりしている。 【思判表】 (行動観察・ワークシート) <ul style="list-style-type: none"> ・公共物や公共施設を調べることに関心をもっている。 【態度】(行動観察・発言)
	課題の設定① 情報収集① まとめ ・表現①	2 ・ 3 ・ 4 ・ 5	① 坂駅を見学する。  ② 坂駅の工夫をカードにまとめ、何のためにあるのか考える。 ③ 坂駅のよさや働きを捉える。  	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、ルールやマナーを守って見学している。 【態度】(行動観察) <ul style="list-style-type: none"> ・公共物や公共施設について、多くの人が利用していることやそれらを支えている人々がいることが分かっている。 【知技】(ワークシート) <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の工夫を整理し、よさや働きを捉えている。 【思判表】 (行動観察・ワークシート) 坂駅の工夫を「だれでも」「気持ちよく」「電車にのってもらふためのくふう」に仲間分け
二 次	課題の設定② 情報収集② まとめ ・表現②	6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10	① 図書館を見学する。 ② 図書館の工夫をカードにまとめ、何のためにあるのかを考える。 ③ 図書館のよさや働きを捉える。(本時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、ルールやマナーを守って見学している。 【態度】(行動観察) <ul style="list-style-type: none"> ・公共物や公共施設について、多くの人が利用していることやそれらを支えている人々がいることが分かっている。 【知技】(ワークシート) <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の工夫を整理し、よさや働きを捉えている。 【思判表】 (行動観察・ワークシート) <ul style="list-style-type: none"> ・相手意識をもち、正しい言葉遣いでインタビューしている。 【知技】(行動観察・発言)
	スロープは、車いすや小さい子どもがいる人でも図書館を利用できるようにするための工夫だと思うから、「だれでも」のグループに入ると思うよ。		④ 図書館の人にインタビューする。 	図書館の工夫を「だれでも」「気持ちよく」「本を読んでもらうためのくふう」に仲間分け

二 次	課題の設定③ 情報収集③ まとめ ・表現③	11	① 坂駅と図書館との違いについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の働きによって工夫が異なることを捉えている。 【思判表】 (ワークシート)
		12	② 公共施設の利用の仕方について考える。	
		13	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ルールを守って、利用するみんなのじゃまにならないように図書かんや坂駅を使っていきたい。お年よりやけがをしている人がいたらしんせつにしていきたい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ルールやマナーはみんなで気持ちよく利用するためにあること、安全に気を付けて正しく利用することが大切であることなどが分かっている。 【知技】 (行動観察・ワークシート)
			③ 学習でお世話になった人に手紙を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 公共物や公共施設の利用を振り返り、見つけたよさや働きを公共施設を支えている人々に知らせている。 【思判表】 (行動観察・ワークシート)
				

8 ルーブリック (評価基準)

	評価基準
III	図書館の工夫について、友だちの意見を受容しながら、根拠を明確にして「だれでも」「気持ちよく」「本を読んでもらうための工夫」の三つの視点で分類している。
II	図書館の工夫について、根拠を明確にして「だれでも」「気持ちよく」「本を読んでもらうための工夫」の三つの視点で分類している。
I	図書館の工夫について、「だれでも」「気持ちよく」「本を読んでもらうための工夫」の三つの視点で分類している。

9 本時の学習

(1) 本時の目標

図書館の工夫を整理する活動を通して、図書館のよさや働きを捉えることができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (・) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 資質・能力 (★) (評価方法)
導 入	1 本時の学習課題を確認する。 ○図書館見学で見つけた工夫について振り返る。 ・返却ポストがあったよ。 ・スロープがあったよ。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までに何のための工夫かを考え、記述させておくことで、本時の学習につなげる。 ◆写真を見返しながら探検に行った活動を想起させる。 	
	2 本時のめあてを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>図書かんで見つけたくふうがなんのためにあるのか考えよう。</p> </div>	

<p>展 開</p>	<p>3 見付けた工夫をペアでタブレットを使って仲間分けする。</p> <p><だれでも></p> <ul style="list-style-type: none"> ・返却ポスト ・スロープ ・点字ブロック <p><気持ちよく></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本を検索するパソコン ・本の整理 ・くつをぬいであがれる部屋 ・1人5冊までかりられる <p><本を読んでもらうための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポップ ・おはなし会 ・1人5冊まで借りられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・見付けた工夫について Jam Board を使って「だれでも」「気持ちよく」「本を読んでもらうための工夫」の3つのグループに分類させることで、考えを整理できるようにする。 ◆ペアで相談しながら分類させることで、自分の考えを広げることができるようにする。 ・必要に応じて、Jam Board 上で画像をコピーし、同じ工夫でも複数のグループに分類してもよいことを伝える。 	
	<p>4 全体で交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スロープは「だれでも」に入ると思っています。なぜなら、車いすや小さい子供がいる人でも図書館が使えるようにする工夫だと思うからです。 ・本を検索するパソコンは、利用する人がスムーズに本を借りられるようにするためのものなので、「気持ちよく」に入ると思っています。 ・おはなし会などのイベントは本を楽しんでもらうために行うものなので、「本を読んでもらうための工夫」に入ると思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫についてどのグループに分類したのか理由を付けて発表させる。同じ工夫でも考えた理由によって、「だれでも」「気持ちよく」「本を読んでもらうための工夫」の複数の理由に当てはまる工夫を取り上げ、それぞれの工夫を多面的に考えられるようにする。 ・「1人5冊まで借りられる。」という工夫を取り上げ、「本をたくさん読んでもらいたいのなら、何冊でも借りられるようにすればいいのではないか。」と問うことで、多くの人に本を楽しんでもらうためのルールであることを確認し、図書館はみんなが気持ちよく本を楽しむ施設であることを捉えさせる。 	<p>★公共施設の工夫を整理し、よさや働きを捉えている。 (行動観察)</p>

	<p>5 図書館で働いている人々について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人に気持ちよく本を読んでもらいたいという思いで働いてくれていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの工夫は誰がしてくれているのかを問うことで、支えてくれている人のことにも気付けるようにする。 ・どのような思いで働いているかを想像させることで、図書館の工夫は人々の働きや思いによって支えられていることを捉えさせる。 	
振り 返り	<p>6 司書の先生の話を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本を好きになってもらいたい。 ・図書館を利用してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司書の先生の話を通して、本時の学習を価値付ける。 	<p>★公共施設の工夫を整理し、よさや働きを捉えている。 (振り返りシート)</p>
	<p>7 本時のまとめをする。</p> <div data-bbox="296 719 1062 819" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>図書館には、みんなが気持ちよく本を読むことができるように、たくさんの人がはたらき、たくさんのくふうがある。</p> </div> <p>8 本時の振り返りをする。</p> <div data-bbox="296 882 1062 1122" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【振り返りの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、使う人が気持ちよく使えるように図書館にはいろいろなくふうがあることに気づきました。 ・次は公民かんなど、ほかのこうきょうしせつについてもしらべてみたいです。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・分からなかったことや疑問に思ったことは次時でインタビューできることを伝える。 	

10 準備物

- ・タブレット
- ・ワークシート

11 板書計画

